

## 公的医療機関等 2025 プランについて（地域医療構想関係部分）

### 愛知県心身障害者コロニー中央病院

#### 【地域において今後担うべき役割】（P5）

- ・コロニー中央病院は、心身に発達障害のある人を対象に生後間もない小児期から成人に至るまで幅広い医療を展開している国内でも稀有な病院である。医療療育総合センター（仮称）発足後は、**県内の発達障害医療の拠点施設及び小児・周産期医療の後方支援施設**として、重い障害のある児者への専門的な医療ケアや、在宅医療を支えるショートステイや付き添いなしのレスパイト入院を充実した看護体制のもとで行うなど、**障害者医療に特化した医療を提供していく。**
- ・染色体疾患を中心に患者や家族に遺伝学的情報の提供や遺伝カウンセリングを実施し、**遺伝性疾患に対する総合的な治療を提供していく。**

#### 【今後持つべき病床機能】（P5）

- ・コロニー中央病院の入院患者は重症度、医療・看護必要度が著しく高く、また、人工呼吸器使用患者が増加し呼吸ケアの必要が増大していることから、**急性期病棟を維持していく。**
- ・児童思春期年代（主に15歳未満の児）の虐待に起因する精神障害（心身症、不登校）の診断、治療を行う心療科が小児保健医療総合センターから医療療育総合センター（仮称）に移管され、精神病床において患者を受け入れる。
- ・医療療育総合センター（仮称）一期工事で整備した重症心身障害児者病棟について、**引き続き慢性期病棟として維持していく。**

## 【今後の方針】（P6、P7）

< 4機能ごとの病床のあり方について >

	現在 (平成28年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期		→	
急性期	135		147
回復期			
慢性期	120		120
(合計)	255		267

・愛知県地域医療再生計画（平成23年）により、発達障害者を始めとした障害児(者)医療をコロニー中央病院が担うこととなり、あいち小児保健医療総合センター心療科が移管される。

< 診療科の見直しについて >

	現在 (本プラン策定時点)		将来 (2025年度)
維持	内科、精神科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、麻酔科、歯科	→	内科、精神科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、麻酔科、歯科
新設		→	循環器内科、神経内科、小児外科、児童精神科、心療精神科、臨床検査科、小児循環器科、小児神経科、小児歯科
廃止		→	
変更・統合	皮膚泌尿器科	→	皮膚科、泌尿器科

・コロニー中央病院が従来対象としてきた知的障害を伴う患者に加え、知的障害を伴わない発達障害の患者も対象として、発達障害者に対する総合的拠点機能の役割を担うこととなり、あいち小児保健医療総合センターとの機能再編を行うことになった。

これにより、平成30年度、あいち小児保健医療総合センター心療科をコロニー中央病院に統合する。

## 【その他の数値目標】（P7）

医療提供に関する項目（重症心身障害児者病棟を除く）

- ・ 病床稼働率：87.1%（平成31年度見込）
- ・ 紹介率：65%以上
- ・ 逆紹介率：40%以上

経営に関する項目（重症心身障害児者病棟を除く）

- ・ 人件費率：70%

